

問1 月が、新月から始まって、三日月、上げんの月、満月、下げんの月、そしてまた新月と
いうように、光っている部分の形が変わって見える現象を何といいますか。

問2 地球の直径を約12000キロメートルとしたとき、その約4分の1である月の直径はおよそ
何キロメートルになりますか。

問3 太陽の表面にある黒点が、まわりの部分よりも黒いしみのように見えるのはなぜで
すか。

問4 地球から月を見たとき、月が光って見える方向には、何がありますか。

問5 月の表面にある「クレーター」とは、どのようなものですか。

問6 月は日によって形が変わって見えますが、このように月の形の見え方が変わる原因は何
ですか。

問7 月が毎日ちがう形に見える「月の満ち欠け」がおこるのは、月が地球のまわりを回ること
で、月、地球、そして何の3つの位置関係が変わるからですか。

問8 太陽を観察するときに、しゃ光プレートを使わなければならないのはなぜですか。

問9 月の形が毎日変わって見えるのは、月がどこのまわりを回っているからですか。

問10 太陽の表面を観察したときに見られる、まわりよりも温度が低いために黒いしみのよう
に見える部分を何といいますか。

問11 月の表面を観察したときに見られる、たくさんのくぼみのことを何といいますか。

問12 月の形の変化において、満月の次に光っている部分の形が変わって見えるようになるの
は、どの月の形ですか。

問13 球形をしていて、みずから強い光を出してかがやいている天体は何ですか。

問14 毎日、太陽が沈んだ直後に月を観察したとき、月の見える位置が西の空から南の空、東
の空へと変わっていくのは、月のどのような変化が起きているときですか。

問15 月が太陽と同じ方向にあるため、地球から月がまったく見えなくなる状態のことを何と
いいますか。

問16 新月のとき、月は太陽に対してどのような位置にありますか。